

越前市

山ガイド

白い鬼女が
住み着いていた
という伝説が
有名よ…

鬼ヶ岳

標高 539m

体力に合わせて
登山コースが
選べます♪

三里山

標高 334m

ビオトープや
展望台あり。
夜景も最高さ★

村国山

標高 239m

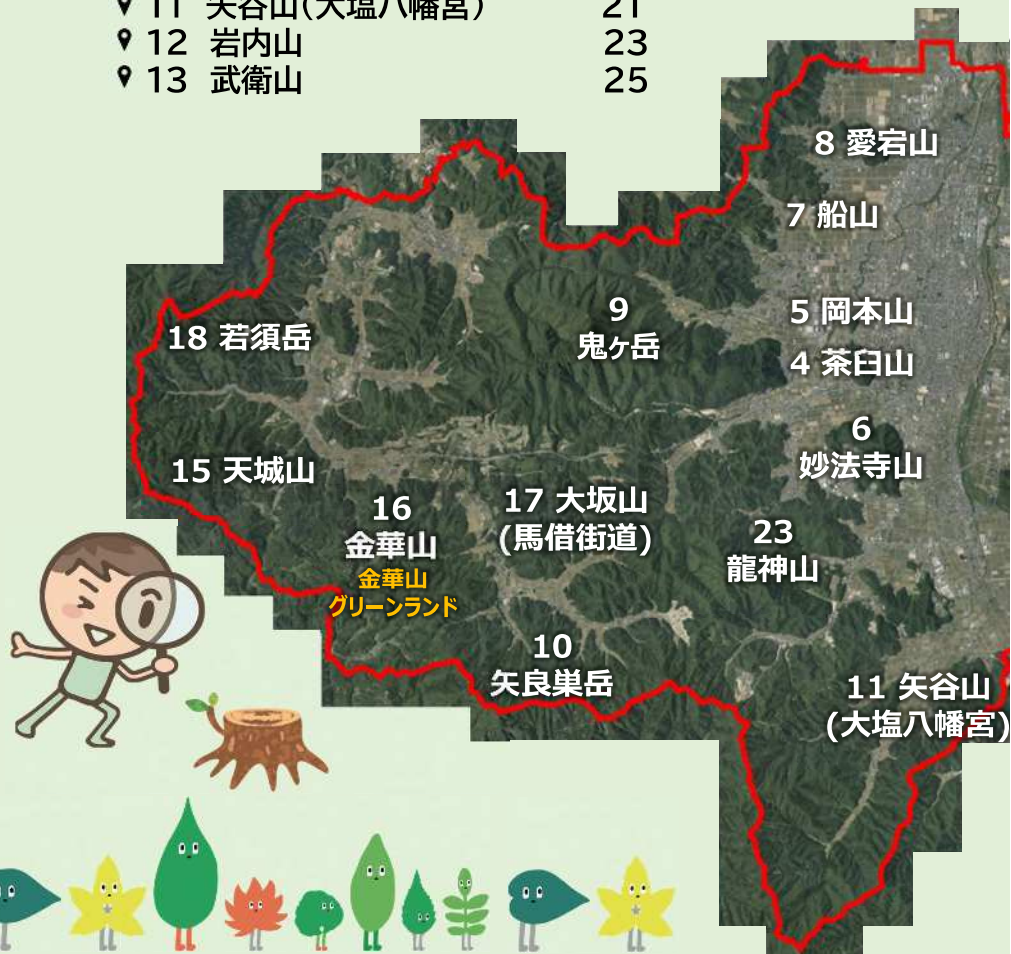
山岳信仰の
霊山じゃ。
越前富士とも
呼ばれておる。

回野山

標高 794m

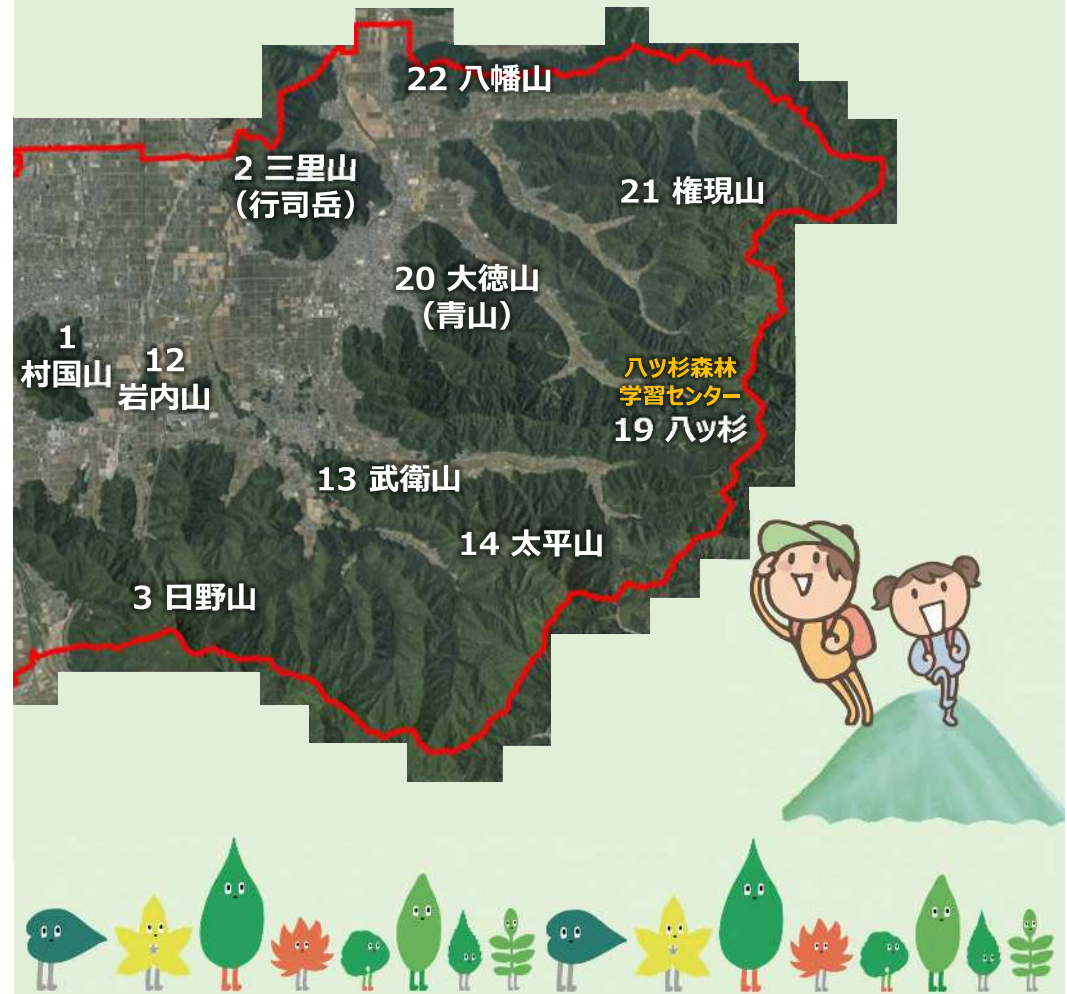
目

1	村国山	1
2	三里山(行司岳・逢坂山)	3
3	日野山	5
4	茶臼山	7
5	岡本山	9
6	妙法寺山	11
7	船山	13
8	愛宕山	15
9	鬼ヶ岳	17
10	矢良巢岳	19
11	矢谷山(大塩八幡宮)	21
12	岩内山	23
13	武衛山	25



次

14	大平山	27
15	天城山	29
16	金華山	31
17	大坂山(馬借街道)	33
18	若須岳	35
19	ハツ杉	37
20	大徳山(青山)	39
21	権現山	41
22	八幡山	43
23	龍神山	45
越前市のキャンプ施設紹介		47



むらくにやま
📍 1 村国山 (国高地区) : 239m



モデルコース



地理院地図を元に作成



村国山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます

竹スライダー



ターザン

パラグライダー

三世代清掃

登山口から山頂までは約850m
上り約50分 (往復約1時間40分)

参考：中部北陸自然歩道越前市
エリアマップ/福井県

村国山は、中国の景勝地に似ていることから芦山と呼ばれ、この山の半分は芦山公園という都市公園になっています。また、舗装された車道が整備されているため、車での登頂も可能です。
また、NPO法人『あそぼっさ！越前市ハッピープロジェクトチーム』（通称あそプロ）が毎年9～10月に『そうだ！村国山へ行こう！』というイベントを主催しており、ターザン体験や竹スライダー、ツリーハウス宿泊（現在製作中）など、村国山で様々な遊びを体験できます。詳しくは090-2037-4409（田辺）までお問い合わせください。そして、パラグライダー体験も通年で行っています。天候等に左右されますが、村国山からパラグライダーで市内を飛ぶことができます。詳しくは090-3766-8553(ジャムスポーツパラダイススクール)までご連絡ください。



地元の活動

国高地区自治振興会グリーンクラブでは、武生第三中学校の生徒に協力してもらい、三世代で村国山の清掃を毎年行っています。
また、市民の森ワークショップでは、遊歩道やスキー場跡地の整備を行っており、散策マップも発行しています。マップには村国山の魅力が詰まっているので、ぜひご確認ください。

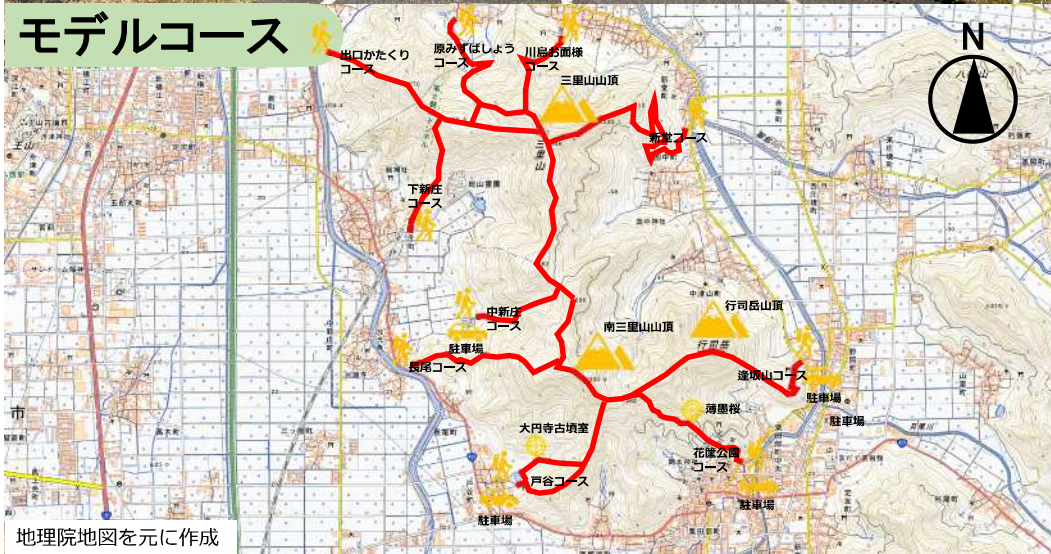


散策マップ

さんりやま
 2 三里山 (北新庄地区) : 334m
 (栗田部地区)
 (南中山地区)



モデルコース



地理院地図を元に作成



三里山はこんなところ！



展望台



行司岳

行司岳から今立市街を望むことができます



薄墨桜



マップのダウンロードはこちら

登山口から全山頂までは約6~7km

上り約3時間 (往復約6時間)

三里山は、鯖江市と越前市にまたがっており、三里山 (346m)、南三里山 (334m)、行司岳 (311m) の主な三つの峰からなっています。行司岳は日野山と文珠山の行司役の山だったとの言い伝えがあります。



南三里山山頂からの眺望が非常によく、登頂途中の尾根には北陸新幹線や白山連峰を一望できるビューポイントがあります。また、寺跡や山城跡など、史跡が多く残っているのも特徴です。花籠公園コースを登ると、樹回り4.5メートル、幹回り9メートル、樹齢500~600年の薄墨桜があり、県の天然記念物に指定されています。継体天皇が男大迹 (おおど) 皇子だった頃、この地に生まれ、即位するために都に上る際に形見として残されたといわれています。また、行司岳には、約500年前には栗田部城という山城があり、一乗谷から都へのろしをつなげる重要な結節点だったといわれています。

南三里山、行司岳、三里山すべてに登頂するには、コース全長が6~7kmに及び、休憩なしで登っても3時間ほどかかります。自分の体力に合わせて登山コースを選定しましょう。
 ※花籠公園と逢坂山公園にはトイレがあります。

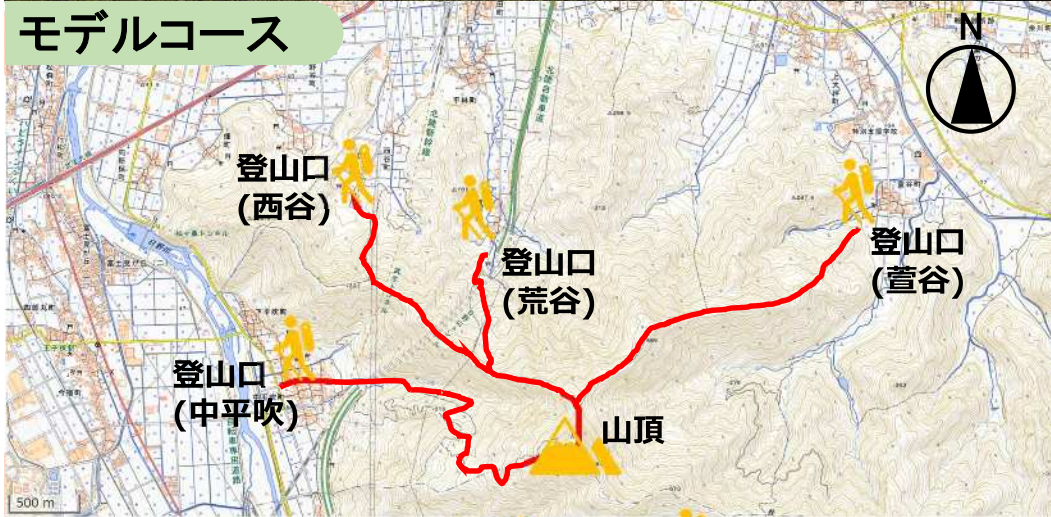


三里山は、田んぼや家並みに取り囲まれた山裾を一周すると三里 (12km) あることから名付けられたといわれています。また、行司岳は、富士山に形が似ていることから「小富士」とも呼ばれています。

ひのさん
 3 日野山 (北日野地区) : 794m
 (王子保地区) (味真野地区)



モデルコース



地理院地図を元に作成



中平吹町生活改善センター(約50台)

日野山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



登山風景

弁慶の三枚切り

大比丘尼ころばし

登山口から山頂までは
 上り約2時間 (往復約4時間)

越前市と南越前町の境に堂々と鎮座するのが、「越前富士」こと日野山です。日野山は、養老2年(718年)に泰澄大師によって開かれました。日野山を囲む地区で毎年登山道等の整備を行っており、景観を含め良好な環境です。天候に恵まれば、山頂から遥か彼方、白山も望めます。登るなら春もしくは秋がおすすめです。冬の時期の登頂も可能ですが、冬山の装備が必要になります。道中には弁慶が岩を三枚に切つて力試しをしたといわれる弁慶の三枚切りや、当時は女人禁制であった日野山を登った尼僧が神の怒りによって転げ落ちてしまったといわれる急坂があります。登山口は全部で4箇所あり、西谷以外には駐車場があります。

参考：ふるさと福井の山/宮本数男



歴史 | 紫式部の歌

ここにかく 日野の杉むら ^{うす}埋む雪 ^{おしお}小塩の松に けふやまがへる
 (越前国府では、日野岳に群立する杉をこんなに埋める雪が降っている。都でも今日は小塩山の松に雪が降っているのだろうか、そんな景色が思い出される。)

紫式部公園 石碑より



越前に所縁のある継体天皇が皇子のところに登ったとの伝説があります。「ひ」を戴く山名は聖なる尊称といわれており、その昔、北国街道を往来した万葉歌人の歌や、芭蕉の奥の細道にも登場し、万葉の歌人や紫式部も歌を詠んだ歴史ある山です。

4 茶臼山 (西地区)
: 北頂106m・南頂135m



モデルコース



地理院地図を元に作成



茶臼山はこんなところ！



頂上の鐘つき堂の横から越前市街を望むことができます



登山口から山頂までは約550m
上り約15分 (往復約30分)



茶臼山は、一般的には抹茶を挽く茶臼に形が似ていることから名づけられたといわれています。誰でも気軽に登れる里山です。南頂・北頂と2箇所の頂上があり、北頂の広場からは越前市街が一望でき眺めがよいです。また、願いが叶う鐘つき堂や金毘羅神社などがあります。南頂には日蓮大聖人像が鎮座しています。

駐車場は登山口左手200mの沢町ふるさと会館またはそのすぐ南側の空き地をご利用ください。



ラクダの背中のような形が特徴の茶臼山。15分で登れる北頂には金毘羅神社があります。茶臼山は全山古墳に覆われていてその数は大小合わせて100以上。昭和25年に慶応大学により行われた調査で横穴式石室古墳、竪穴式小石室古墳、直径50m余りの円墳と短刀・金環・黒漆塗り櫛・須恵器などが発掘され、昭和28年には県の文化財に指定されました。

おかもとやま
📍 5 岡本山 (神山地区) : 93m



モデルコース



地理院地図を元に作成

岡本山はこんなところ！



山頂から大虫地区の田園風景を望むことができます



登山口から山頂までは約300m
上り約10分 (往復約20分)



ふもとの神社から登山道を登ると中腹の展望台に西国三十三箇所の石仏を祭ったお堂があります。展望台からは市街地を一望することができ、正面には越前富士、日野山がはっきりと見えます。登山道の傾斜は緩く、道というより階段が多いです。春には桜で覆われ、夏には涼しい風も吹き、標高の低さも相まって夕涼み、花火見物で登るには最適な山です。



石仏



展望台からの景色



山頂広場



岡本山の北頂部に前方後円墳と隣接して方墳の2基の古墳があります。また、遺跡調査の結果、埴輪や須恵器の破片が確認されています。

(参考：岡本山古墳群他遺跡詳細分布調査報告書)

ひょうほつじやま
 6 妙法寺山 (南地区) : 235m
 (神山地区)



モデルコース



地理院地図を元に作成



妙法寺山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



登山口から山頂までは
 上り約30分 (往復約1時間)



越前市妙法寺町にある白山神社の南側に登山口があり、白山神社内に駐車場がありますが、そこに行くまでの道が急で狭いです。近くにある妙法寺町生活改善センターにも駐車場があります。

山頂までの登山道は、見失うことはありませんが、滑りやすいところもあるので注意が必要です。

参考：うるわしき神山/神山地区自治振興会
 ふるさと福井の山/宮本敦男
 南地区自治振興会

※近くにトイレがないため登頂の際は注意しましょう。

特徴 | お地蔵さんが数多くあります。

登山道の脇には、たくさんのお地蔵さんが安置されています。数えながら登山するのも楽しみの一つでしょう。



南北朝時代には、この妙法寺山に城砦が築かれ、南朝方脇屋義助軍の武将瓜生重・照兄弟が立て籠もり、北朝方の足利軍と対戦したと「太平記」に記されています。また、この城砦は1340年に落城したとされています。山頂からの眺めはよく、東側には日野山がそびえ、北東側には市街地と村国山があります。

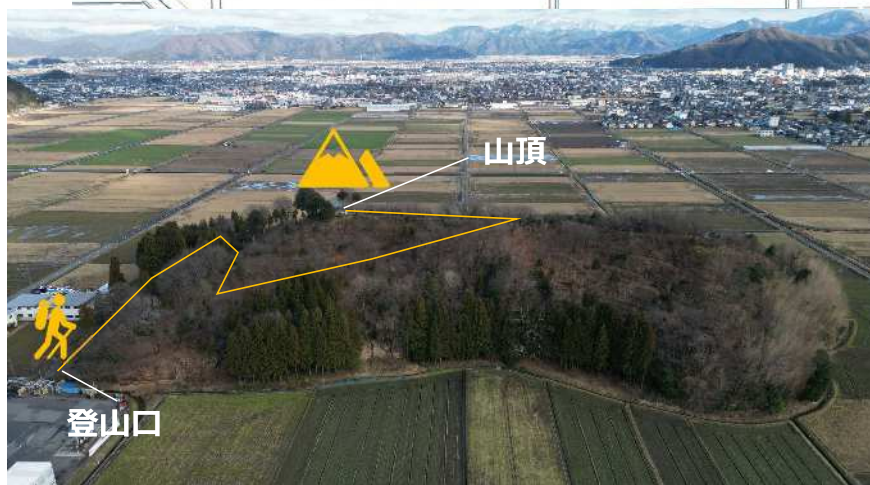
ふなやま
📍 7 船山 (大虫地区) : 74m



モデルコース



地理院地図を元に作成



船山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



山頂の神社



登山道中に安置されている地藏



登山口

登山口から山頂までは約450m
上り約10分 (往復約20分)

登頂にさほど時間がかからず、越前市街の眺望もよいので、地域に親しまれており、散歩感覚で登山できる山です。登山道中には90体ほどの地藏があり、芹川久左衛門という方が天保の飢饉の際、死者の霊を弔うために置いたという言い伝えがあります。地藏の中には金森左京などの有名人のものもあります。

参考：自然と歴史にふれあう大虫/おおむし自治振興会

※近くに駐車場がありません。 路上駐車での登山はご遠慮ください。

見どころ | 桜の花

桜の時期にはたくさんの桜の木が花を咲かせ、とてもきれいです。



約1600年前の古墳時代中期、舟山の頂上に全長約52mの前方後円墳が作られました。頂上から武生盆地の日野川西部一帯が見渡せることから、この地域を治めた豪族の墓であろうと思われます。

あたごやま
📍 8 愛宕山 (吉野地区) : 103m



モデルコース



地理院地図を元に作成



愛宕山の全景



愛宕山はこんなところ！



山頂から市街地と市街地の案内板



登山道が整備されており、登りやすいです



山頂の神社

登山口から山頂までは約850m
上り約20分 (往復40分)

愛宕山は愛宕神社から山名が生じました。本保山、糠鍋山、おむすび山などとも呼ばれ、ひょっこりひょうたん島のモデルともいわれています。流紋岩や洪積層からなり、雑木林が茂り、カタクリの群生地やこぶしの花などが楽しめる山です。頂上には、慶長年間に本多富正が建立した愛宕神社が火難除けの社としてまつられており、勝軍地蔵とも呼ばれています。南側以外の登山口には、駐車場とトイレがあります。

参考：あるこう魅力あふれる吉野/吉野自治振興会



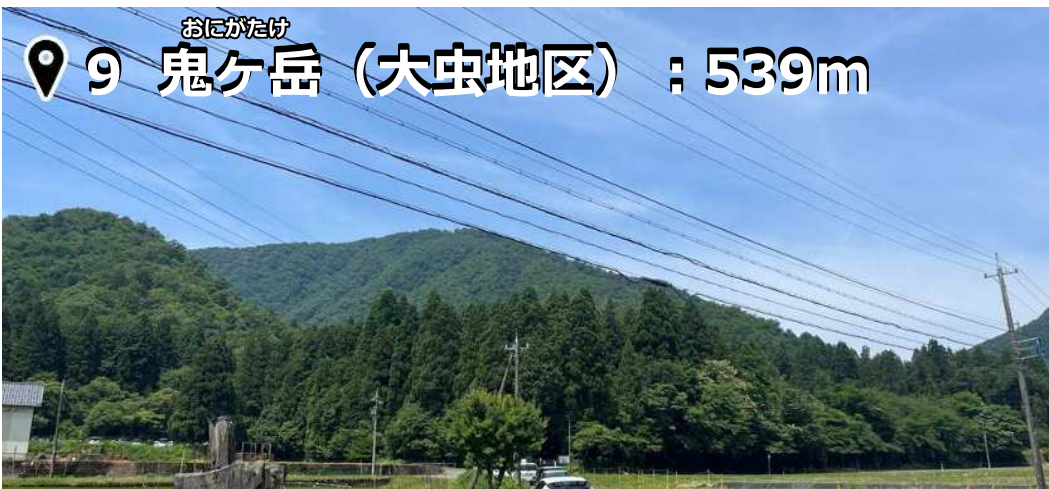
見どころ | 桜の花

山頂には桜の木があり、登山で疲れた体を癒してくれます。



山一帯は、縄文時代からの複合遺跡が点在し、2基の前方後円墳を含む78基の方墳、円墳が現存しています。また、山頂から北東の方向には、昭和30年代に築造された簡易水道の基礎が残っています。

おにがたけ
 9 鬼ヶ岳 (大虫地区) : 539m



モデルコース



地理院地図を元に作成

鬼ヶ岳はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



登山口から山頂までは約1,500m
 上り約1時間 (往復約2時間)

越前市街の眺望が良く、平日でも登山者でにぎわっています。登山口には駐車場があり、気軽に車で来て、散歩感覚で登山することができます。
 地元 (壮友会・大虫町) で草刈りや登山道整備を行っており、たいへん登りやすいです。山に入る際は、入り口の門扉をあけて入ります。また、靴の洗い場もありますので、下山してきた際には靴を洗えます。
 ※近くにトイレがないため登山の際は注意しましょう。

参考：中部北陸自然歩道越前市エリアマップ/福井県自然と歴史にふれあう大虫/大虫自治振興会 福井県の山/宮本数男



行事 | 8月15日 鬼ヶ嶽火祭り

毎年、麓からたいまつを掲げて山に登る鬼ヶ嶽火祭り登山が行われています。



『その昔、この山 (当時は丹生ヶ岳と呼ばれていた) には白い女の鬼が棲みつき、通行人を襲い、時には武生の町まで出没して荒らし回った。ある日、山から下りてきた鬼を発見した若者たちは今度こそ退治しようと、逃げる鬼を日野川の橋まで追い詰め、ついに首尾を果たした。この橋を白鬼女橋 (しらきじょばし) と名付け、その際に山名を鬼ヶ岳に変えたという』という逸話が有名です。

やらすだけ
📍 10 矢良巢岳 (坂口地区) : 473m



モデルコース



八幡神社の横の林道を通ると登山口があります。

地理院地図を元に作成

矢良巢岳はこんなところ！



山頂から海を望むことができます



子供たちの学習の場

アニメの世界に入り込んだような山道

駐車場

登山口から山頂までは約1,600m
上り約1時間10分 (往復約2時間20分)



エコビレッジの駐車場に車を置き、トイレを済ませてから歩かれる方もいらっしゃいます。エコビレッジから下別所町の登山口までは歩いて20分ほどです。

矢良巢岳は、海上から見た時の山の形が、掛け軸をかけるための“やはず棒”の形に見えることから、「やはず」がなまって「矢良巢」になったといわれています。

県内で観察できる3分の2が冬鳥、夏鳥などの渡り鳥で占められていて、矢良巢岳は、希少な猛禽類を始め渡り鳥のルートになっています。シーズンになると「日本野鳥の会」や「日本鳥類保護連盟」の皆さんが、調査をされているのに遭遇することも。

アピールポイント | 四季折々の動植物と眺望

登山道を進む途中には四季折々の動植物を目にすることができ、公園として整備された頂上は一等三角点の名に恥じず越前平野、日本海、敦賀湾や遠くに丹後半島が望見できます。



矢良巢岳は丹生山地の南に位置しており、全国に969点ある一等三角点の山です。一等三角点は地図作りの基点となる測量点で山好きの方の中には、一等三角点の山だけを指すという人も多くはるばる遠方から登りに来る方も多い山です。

やだにやま
📍 11 矢谷山 (王子保地区) : 224m



モデルコース



地理院地図を元に作成

矢谷山はこんなところ！



展望広場から市街地を望むことができます



登山口から山頂までは
上り約50分 (往復約1時間20分)

越前市国兼町にある大塩八幡宮の先に登山口があり、麓の国兼町生活改善センターに駐車場があります。山頂までの登山道は見失うことはありませんが、全体的に急峻で、滑りやすいところもあるので注意が必要です。

※駐車場に隣接するトイレがあります。



見所 | 歴史遺産が数多くあります。

登山道には、大塩山城址をはじめ、たくさんの歴史遺産があります。かつての出来事を思い描きながら登山するのも楽しみの一つでしょう。



矢谷山城は大塩山城とも呼ばれ、越前市南部一帯の荘園、王子保に築かれた山城です。木曾義仲が京へ上る途中に陣を張った場所になります。また、寛平3(891)年に京都石清水八幡宮から勧請した大塩八幡宮は、その拝殿が国の重要文化財に指定されています。展望広場からは、越前市内や鯖江の西山公園まで見渡すことができます。

12 岩内山 (北日野地区) : 94m



岩内山はこんなところ！



岩内町・大屋町、杉崎町にまたがる丘陵 上り約15分 (往復約30分)

北陸新幹線駅から登山口がすぐ近くにあり、ビューポイントとして整備されているため、登頂にさほど時間がかからず、気軽に登山ができます。
越前たけふ駅東パーク・アンド・ライド (P&R) 駐車場を利用いただき、北陸新幹線越前たけふ駅周辺をお楽しみ下さい。
(岩内山の名前の由来)
岩内町は、かつて日野川が流れており、川の水が岩を打っていることから「岩打ち→岩内」という地名になり、岩内山と呼ばれるようになったといわれています。



令和2年度から整備を行っています

岩内山は北陸新幹線が間近で見える二か所のビューポイントがあり、令和2年度から整備を始めています。地元の「岩内山を愛する会」が中心となって、日々手入れをしています。



岩内山の尾根上には、大小51基の古墳群があり、岩内山周辺に広がる豊かな平野を基盤とした集落を治めていた人物が葬られていると考えられます。岩内山古墳群では、北陸自動車道武生インターチェンジ建設に伴う発掘調査が昭和48~49年にかけて行われ、古墳時代前期(4世紀代の古墳であることが判明しました)、岩内山の南には、古くから越前の人々の信仰を集めてきた日野山があり、日野山周辺には日野山信仰に関係する神社があり、岩内山の南側にある三ノ宮神社もその一つです。
一ノ宮神社は西谷町、二ノ宮神社は荒谷町にあり、どちらも日野山のふもとに建立されています。

13 武衛山 (味真野地区) : 321m



武衛山はこんなところ！



山頂から市街地を望むことができます



登山口から山頂までは約2,000m
上り約1時間 (往復約2時間)



味真野苑には登山口があり、万葉集ゆかりの和風庭園や飲食店も楽しめます。駐車場とトイレも完備しているので、気軽に車で行って散歩感覚で登山することができます。また、登山道は整備されていて歩きやすく、途中で休める展望ベンチもあります。山頂にはパノラマビューが設置されていて、絶景を楽しむことができます。また、お山歩MAPは味真野苑、味真野公民館、道の駅越前たけふで入手可能です。※味真野苑の駐車場トイレ近くの庭園に入ると、右側に小さな竹林があり、その近くに登山口の案内看板が立っています。

参考：武衛山お山歩MAP万葉の里味真野苑コース/味真野自治振興会

行事 | のろしりレー

のろしりレーの舞台になっています。また、味真野自治振興会が登山道の整備・管理を行っています。



1470年ごろ(室町時代)に越前国守護の斯波義敏(しば よしとし)によって武衛山城が築城され、堀切や土塁が残っています。「武衛」とは、斯波家が室町幕府三管領筆頭の家格で、歴代当主は兵衛督(ひょうえのかみ)に命じられ、その唐名の「武衛」に因んで「武衛家」とも呼ばれたことに由来します

たいへいざん
📍 14 大平山 (味真野地区) : 612m



モデルコース



地理院地図を元に作成



北側から



Y字路を左に進むと登山口があります

南側から

大平山はこんなところ！



山頂から越前市の山々を望む



時水



駐車場

武衛山から縦走にて約1時間

山頂へは武衛山山頂から縦走することにより登頂できます。
また、延命長寿の験があることで知られる、
五皇神社のある山室町側から登頂するルートもあり、そちらのほうが登りやすいです。
武衛山から縦走する場合は、急峻な登り道があるため、ペース配分はゆっくりしましょう。
※近くにトイレがないため登頂の際は注意しましょう。



見所 | 時水 (ときみず)

大平山の中腹にある間歇冷泉で、山の窪みに、一定期をへだてて満水になり水が流れ落ちる現象です。現在では、不定期不定量で1日に約18回前後起こります。
間歇冷泉は全国で数例しか確認されておらず、極めてまれな自然現象です。
時水は福井県の文化財に指定されています。

参考：「福井の文化財」https://bunkazai.pref.fukui.lg.jp/search_category/content?detail_id=559-0 福井県教育庁生涯学習・文化財課

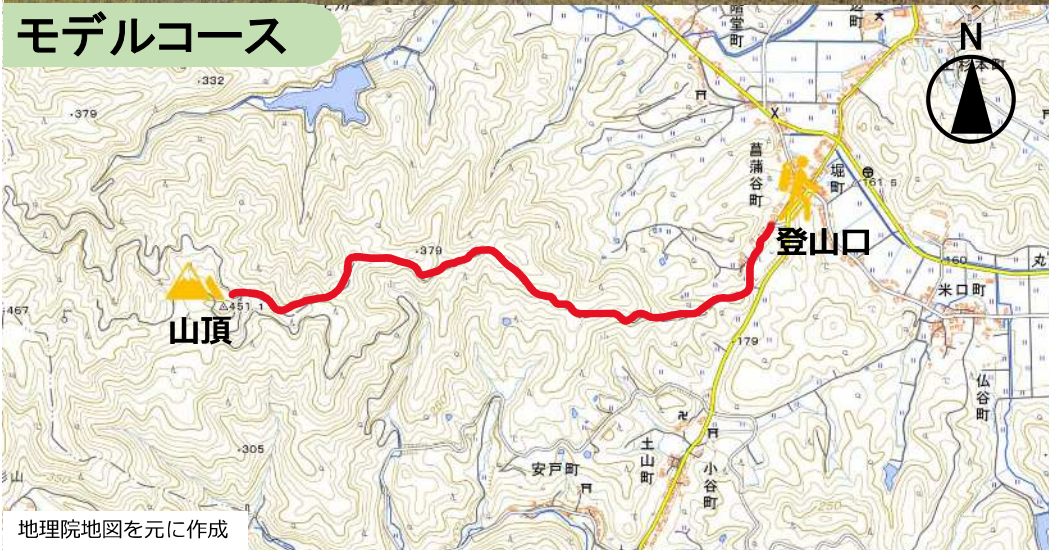


時水という由来は、昔山仕事をしている人たちが、約2時間に1回湧き起こる音を時計の替わりにしてきたという言い伝えからだとされています。

てんじょうざん
📍 15 天城山 (白山地区) : 451m



モデルコース



天城山はこんなところ！



山頂には看板が立っています



登山道整備の様子



山頂までの距離を示す看板 頂上付近から見える日本海

登山口から山頂までは約2,500m

上り約1時間20分 (往復約2時間)

天城山は、伝えられるところでは658年(斉明天皇4年)蝦夷討伐の拠点として、さらにその後一足が駐屯したといわれています。糠浦や杉山集落から物資を担ぎ上げたとの伝承もあり、頂上には「城ヶ平」など城跡を思わせる地字名があり、大勢の人たちが暮らした形跡が残っています。

登山道は、菅蒲谷町の壮年会の皆様によって年二回の草刈り等の整備が行われており、大変登りやすいです。また、登山道はほぼ木陰なので夏でも登りやすいでしょう。菅蒲谷町集落センターに車を停めて登山することができます。

アピールポイント|天城山ウォーク

毎年11月ごろに、「天城山ウォーク」というイベントが開催されており、数十人規模で天城山を登っています。下山後は同日に開催されている「金華山グリーンランド秋の感謝祭」の会場に移動し、地元特産品の購入などができます。

「天城山ウォーク」についてはしらやま振興会 (0778-28-1045)
「金華山グリーンランド秋の感謝祭」については金華山グリーンランド (0778-28-1149)へお問い合わせください。

しらやま
振興会HP



天城ウォークの様子

きんかざん
📍 16 金華山 (白山地区) : 398m



モデルコース



金華山はこんなところ！



金華山グリーンランド

登山口付近には金華山グリーンランドという施設があります。ここでは、コテージやバンガローでの宿泊やキャンプができます。(オートキャンプも可能) バーベキューハウスや温水シャワーもあり、充実したキャンプを楽しめるでしょう。追加料金2,000円を払えば、キャンプファイヤーをすることもできます。

また、毎年11月ごろには「金華山グリーンランド秋の感謝祭」が行われており、地元産の野菜の販売等、様々なイベントが行われています。

詳しくは金華山グリーンランド (0778-28-1149) へお問い合わせください。

金華山グリーンランドHP



「昔、奈良時代末期、光仁天皇の王子、万能華親王が兵乱を避けて従者と共に北陸の地に逃れ、隠れ家を丸岡の南、中山へ越す峠の堂津端という地に定め追手や土賊の襲撃に備えて所々に見張り所を設けて身の安全を図った。

この高い山を「君を隠した山」と呼び、その後、「君隠し山」「金華月山」「金華山」となったとも言われています。

(引用：ふるさと白山 武生市合併五十周年記念誌)

おおさかえやま
 17 大坂山 (神山地区) : 310m



モデルコース



大坂山はこんなところ！



展望所より一望できる山々と山頂の案内看板



歴史と遊ぼう馬借街道in神山

地元の方による登山道の整備

広瀬の登山口にある案内看板

登山口から山頂までは約310m
 上り約30分 (往復約1時間)



登山口の手前に広々とした駐車場がありますが、トイレはありませんのでご注意ください。
 下中津原町側、広瀬町側どちらからでも登れます。
 馬借街道と呼ばれる古道が登山道になっています。馬の水飲み場や馬が坂道を上る際にずれた荷物を整えるための荷直し場があるなど、当時の痕跡を感じながら登ることができます。
 また、馬借街道は越前市の文化財に指定されています。

行事 | 5月3日 馬借街道

毎年、『歴史と遊ぼう馬借街道in神山』というイベントを行っています。
 興味のある方は詳細を神山自治振興会 (0778-23-8010) までお問い合わせください。



奈良の都のころに北陸道が整備されましたが、京に向かうには南条の険しい山々を超える必要がありました。馬借街道は船で敦賀より河野浦へ出て、現在の坂口、広瀬を
 通って府中(武生)に出られるためそういった山々を越える必要がなく物資輸送の面
 や軍事面で鎌倉時代や室町時代にも整備が行われました。
 その歴史を歩きながら感じる事ができることから福井県より「ふくいSatoyama
 トレイルコース」(越前海岸~府中 古道コース)に設定されています。



地理院地図を元に作成

わがすだけ
📍 18 若須岳（白山地区）：564m



モデルコース



地理院地図を元に作成



若須岳はこんなところ！



山頂から望む白山地区
コウノトリが見ている風景です



登山道途中の休憩ベンチ

登山口

駐車場

登山口から山頂までは約3,000m
上り約1時間40分（往復約3時間20分）



白山盆地を見下ろす山々の中で盟主ともいえる存在です。コウノトリが舞う美しい白山地区を見守る象徴として、地元の人々に愛され大切に保全されています。地元で樹名板の取り付けを行っており、それらを見ながら登るのもよいでしょう。山頂に登ると、白山（はくさん）や日本海など360度見渡せる圧巻な景色が眺望でき、幸運な方はひなが誕生する6～8月に野生のコウノトリの姿がご覧いただけるかもしれません。

行事 | コウノトリなりきりツアー

コウノトリなりきりツアー（4月～11月）を開催しています。ご興味のある方はしらやま振興会（TEL:0778-28-1045）までお問い合わせください。



昔、百濟のお姫様が流れ着いて干飯（かれい）を炊いたと言われており、そのお姫様が山越えをした白山の盆地は山干飯盆地と呼ばれています。

やっすぎ 19 ハツ杉 (岡本地区) : 559m



モデルコース

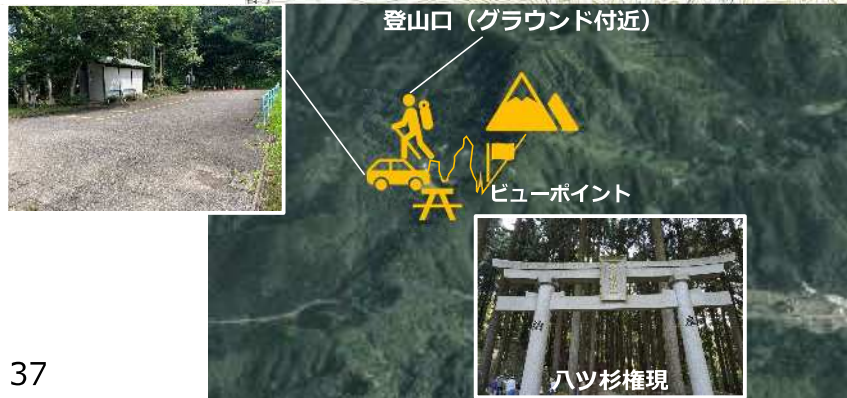


ハツ杉はこんなところ！



登山口から山頂までは約900m
上り約20分 (往復約40分)

越前市東部に位置するハツ杉森林学習センターに車を止め、20分程度で登頂できます。春は桜、秋は紅葉で彩られ、景観がとても良いです。また、街の光がないため、夜には星がとてもきれいに見えます。モリアオガエルやタマムシなど、希少な生物も生息しています。



ハツ杉の名称については、昔、山上に大きな寺があり、毎日ハツ (午後2時) 過ぎにゴーンと鐘が鳴ったので、「ハツスギ」と名付けられ、それがハツ杉になったと伝えられています。

ハツ杉権現の建立時期については、弘長2年(1262) (内田藤右衛門家記録) となっており、覚念が別印に日円寺の前身寺 (= 妙法蓮華経庵) を建立した時期とは大差がなく、ハツ杉権現とは深い関係を持っていたことがわかります。また、同家記録には、興国2年(1341) にハツ杉権現炎上と記され、興国6年(1345) の日円寺に安国寺、利生塔が建立された時期と近接しており、ハツ杉権現跡から発見された「至徳元年(1384) 銘の“石龕(せきがん)”と日円寺旧跡より発見された「至徳3年」(1386) 銘の墓碑との関係は、いよいよその密接な内容とその存在を明らかにするといえましょう。

ハツ杉権現は、林間広場の奥に祀られています。

たいとくざん
 20 大徳山 (岡本地区) : 327m



モデルコース



地理院地図を元に作成



大徳山はこんなところ！



大スギ



大瀧城本丸跡



青山登りで賑わう大スギ広場

5つの神社に登山口が位置する
 上り約30~50分 (往復約2時間)

地元では、主に「お峰」と呼ばれています。山頂付近に「大スギ広場」があり、福井県指定の天然記念物である大スギや、大瀧城本丸跡があります。また、同広場は青山登りで憩いの場として使われています。登山口は大徳山のふもとに位置する5つの神社にあり、駐車場もあります。登山道には神社にまつわる数多くの石標と、約60種の樹木で四季折々の様子を楽しむことができます。大瀧神社と月尾神社から登ると様々な名勝を見ることができます。



行事 | 青山登り

江戸時代、五箇の祭り(神輿渡り)の次の週に、女人禁制を解き、村人が山に登って宴を開いたことが現在まで受け継がれ、緑の芽吹く山に登ることから「青山登り」と言われています。



大徳山のふもとにある大瀧神社は日本で唯一紙の神様(川上御前)を祀る神社です。五箇地区では、毎年5月3日から5日にかけて、和紙の里祭りが開催され、神輿を担いで奥の院まで紙の神様を送り迎えするという行事があります。(お上り、お下りと呼ばれる)

どんぐりやま
📍 21 権現山 (服間地区) : 562m



モデルコース



地理院地図を元に作成



権現山はこんなところ！



山頂から月尾集落を望むことができます



山頂広場



山中にある布滝



登山口/駐車場 (約10台分)

登山口から山頂まで約2000m
上り約1時間半 (往復約3時間)



柳の滝「不動滝」「お釜滝」「布滝」「窓滝」「夫婦滝」を眺めながら登山ができます。登山道も整備されており、ふくま自治振興会が毎年草刈りを行っているためとても登りやすいです。山頂には鐘撞き堂があり、誰でも鐘を鳴らせます。また、頂上付近にはとても大きなもみの木があり、樹齢は700~800年といわれています。登山口から車で5分程度のところに小次郎公園があり、登山で疲れた体をいやすめます。(駐車場、トイレ有り)



小次郎公園



剣豪・佐々木小次郎の生家といわれる高善寺が近隣にあります。小次郎は柳の滝で剣の修行をしたといわれています。佐々木小次郎は幼名を小六(ころく)といい、ある場所の岩壁には小六と刻まれています。

参考：柳の滝観光パンフレット



はちまんやま
 22 八幡山 (服間地区) : 229m



モデルコース



地理院地図を元に作成

八幡山はこんなところ！



山頂 (越前市側)



朽飯八幡神社



朽飯坂峠に鎮座する地蔵



銭ヶ花という地名の由来 (コラム参照)

登山口から山頂までは約1,000m
 上り約30分 (往復約1時間)



朽飯の集落からは「天引部山」と呼ばれていましたが、集落内にある朽飯八幡宮から「八幡山」と呼ばれるようになったそうです。
 八幡宮には織物の神様が祀られており、源範頼ともゆかりのある由緒ある神社です。朽飯坂峠までは、切通しがそのままの状態が残っています。すべりやすいので、登る際は十分に注意してください。

※駐車場がないため、登山の際は注意しましょう。



八幡山のふもとには、銭ヶ花という地名があり、今でもバス停の名称になっています。かつて一の鳥居と二の鳥居の間は朽飯八幡神社の参道になっており、参道の両側に一本の綱を張り、これにお賽銭をつるすのがしきたりだったそうです。一の鳥居があった場所は、銭の端っこ、銭のはな、銭ヶ花となって地名として残っています。

23 龍神山 (神山地区) : 398m



龍神山はこんなところ！



山頂手前の広場から越前市街を一望できます



登山口 (池ノ上スポーツ林道内)

山頂

登山道

登山口から山頂までは約1,200m
上り約50分 (往復約1時間40分)



登山口から山頂までは一本道になっています。傾斜がきついところがありますが、登山道は整備されていますので、迷わず登ることができます。また、山頂手前の広場からの景色はたいへん美しく、疲れを吹き飛ばしてくれるでしょう。

この地区はその昔「龍神山村」と呼ばれており、文字を省略して現在の名称の「神山」となりました。南の龍神山、北の雷(いかずち)神社、東の岡本山、西の大坂(おおさかえ)山にはそれぞれ龍神が祀られています。龍神には田畑への豊かな水源となる水をつかさどると言われています。地元には「龍神伝説」も残されており、市民有志で祭りも実施されるなどその歴史は今も伝えられています。



池ノ上スポーツ林道の施設の一部として、トイレや駐車場(約20台)が整備されており、利便性が高いです。スポーツ林道には春には桜の並木道、秋には色鮮やかな紅葉といったように、季節によって様々な森林風景を楽しむことができます。また、携帯電話の電波もつながるため、初心者でも安心して登ることができます。

越前市のキャンプ施設の紹介！



ハツ杉森林学習センター（越前市別印町19-1-1） △施設ホームページ

越前市東部に位置するハツ杉の森で、散策や森林浴を楽しむことができます。また、森の家やバンガローでの宿泊やキャンプ、施設内で木工体験やピザ焼き、BBQ等ができます。その他、天体教室やヨガ、色々な自然体験・環境学習のプログラムを開催しており、森林空間で様々な癒しの活動を楽しめます。令和7年度には「ハツ杉和ハーブロード」が整備されました。今後、和ハーブを様々な形で体験・学習できるイベント等を実施していく予定です。



県産材を用いた宿泊施設 森の家



ログハウス風のバンガロー

金華山グリーンランド（越前市米口町58-25）



△施設ホームページ

越前市西部の山中にあり、自然とのふれあい、健康づくり、森林の多角的活用を目的としています。コテージでは別荘感覚で宿泊ができ、バンガローでの簡易宿泊やキャンプもできます。また、山道や林間広場で散策や森林浴、BBQを楽しめます。なお、展望台からは日本海を望むことができ、壮大な自然を満喫できます。



別荘感覚で宿泊できるコテージ
全4棟（Wi-Fi有り）



簡易宿泊ができるバンガロー 10棟

安心して山を楽しむためのクマ対策



クマと遭わないために

- ◆音を出しながら歩きましょう
 - ・クマ鈴や笛を鳴らしたり、ラジオを流したり、会話しながら歩くことで、出会いを防ぐことができます。
 - ・食べ物のニオイに引き寄せられることがあるため、食料は密閉し、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ◆暗い時間帯や見通しの悪いときは入山を控えましょう
 - 早朝・夕方・夜間、霧で視界が悪いときは、お互いに気づきにくくなり、遭遇リスクが高まります。時間帯や天候にも気を配りましょう。

クマに遭ってしまったら…落ち着くこと・興奮させないことが大切です。

- ◆騒がず、ゆっくりと後ずさりしましょう
 - 背中を見せず、ゆっくり距離を取りましょう。
- ◆攻撃を避けられないときは急所を守る
 - 転倒などで身動きができない場合は、地面に伏せ、両手やリュックで首の後ろを覆い、頭と首を守りましょう。

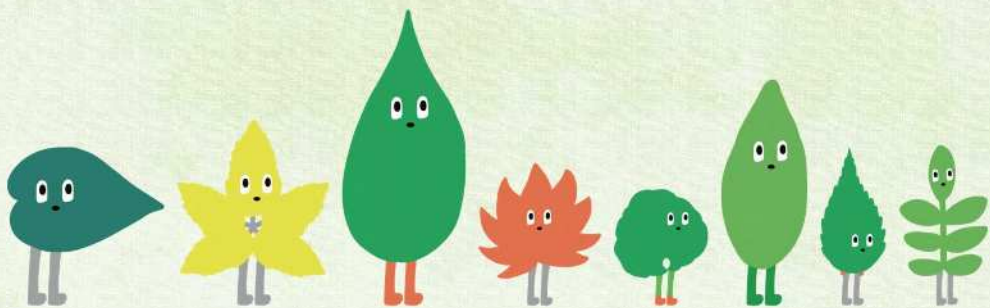


謝辞

本ガイドブックの作成にあたり、越前市内各地区の自治振興会の皆さまをはじめ、山に詳しい地元の皆さま、多くの市民の皆さまにご協力を賜りました。各山の歴史や伝承、登山道の状況など、貴重な地域の知恵と経験を惜しみなく共有していただいたおかげで、本書はより深みのある内容となりました。また、日頃より登山道の整備、景観の保全に携わっておられる皆さまの継続的な活動が、本市の山の魅力を支えています。ここに心より敬意を表し、厚く御礼申し上げます。本書が、地域の自然や文化に親しみきっかけとなり、多くの方々に山の魅力を感じていただければ幸いです。

越前市役所 農林整備課





[編集発行]

越前市 環境農林部 農林整備課

〒915-8530

福井県越前市府中一丁目13-7

TEL/0778-22-3008

FAX/0778-22-5167

Eメール/nourinseibi@city.echizen.lg.jp

発行日:令和8年3月

